

## 今日からスタート、今すぐスタート

原野

原野と申します。2013年6月、山西財經大学日本語学科を卒業し、7月に亜細亜友之会外語学院に進学しました。特別日本に憧れていたわけでもなかったのですが、ハッキリとした目標を持たずに日本留学に来てしまいました。しかし、現在考えてみれば、自分の選択は正しかったと思います。

自分は本当にラッキーだと思います。この1年9ヶ月間にたくさんを経験し、多くの収穫も得られました。日本に来たばかりの頃、右も左も分からず、買い物する位の小さなことさえ苦労しました。幸いなことに、亜細亜友之会外語学院の先生方は勉強の面だけではなく、生活面の面倒まで見てくださいました。寮のゴミ箱、トイレトペーパーまで用意してくださって、本当に自分の家にいるような温かみを感じました。

私は中国でN2に合格してから日本に来ましたが、日本に来てから自分の日本語力の低さに驚きました。単語だけはたくさん知っていても会話と聴解は全く駄目でした。自分の日本語レベルに合ったクラスに入れて頂いたおかげで、日本語能力の上達がとても速かったです。亜細亜のルールがとても厳しくて、授業前に必ず携帯電話の電源を切り、電話を教卓に出さなければなりません。そのおかげで、授業中に携帯を見る学生が一人もいなく、皆真面目に授業を聞いていました。

両親の負担を減らすために、少しでもアルバイトをして自分の学費を稼ぎたいと思っていました。しかし、日本語が上手ではなかった私にとって、アルバイトを見つけるのは簡単なことではありません。それを知った校長先生はすぐアルバイトを紹介してくださいました。本当に助かりました。

大学院進学の時期になり、そろそろ真剣に自分の進路を考えなければならぬと分かっていますが、何をどこからすればよいのか全く分かりませんでした。その当時の自分はN2合格と留学試験283点の成績しか持っていません。大学の専攻と異なる経営学を勉強したいので、残った道は2つだけです。一つは、まず有名な大学の研究生になって、その後また大学院の入学試験に参加する道です。もう一つは、直接普通の大学の大学院の入試に参加して合格を獲得する道です。大学院卒業まであまり長い時間をかけたくなかったので、直接大学院の入学試験にチャレンジすることにしました。

2014年の夏休み、私はほぼ毎日自習室で先行研究を読んだり、研究計画書を書いたりして、勉強三昧の生活を送りました。先生方に何度も研究計画書を修正して頂いて、出願後も、何度も面接練習をして頂きました。先生方のおかげで、国士舘大学大学院経営学研究科第一期の入学試験に合格しました。

最後に、経営学専攻に進学したい後輩たちに、自分の経験を紹介させて頂きたいと思います。『経営学基礎』が一番お勧めの入門書です。そのほかは、新聞とニュースを良く見て、現在日本の経済状況と話題になる経済の情報を熟知したほうが良いと思います。今からでも遅くないので、夢に向かって頑張ってください！